

〔百姓傳記〕<sup>十三</sup> 菖蒲ヲ植ル事

一 菖蒲ヲ植ルニ土地ニ嫌ヒナシ、雨池堀岸河岸土崩レ損ゼル處々ニ根ノハルコト限リナシ又水ナキ處ヘモ生上ルゾ、雨池ナドノ小サキ池ニハ忌ベシ、生茂リ水ヲ減スモノナリ、○中略

石菖ヲ植ル事

一 石菖ノ種色々アリ、土民ノ用ルハ大石菖ヲ植ベシ、山間ナドノ雨池石地ナドニテ崩ル、處ノ水付、又澤水池水ノ餘リテ地ヲ破ル處ニ植テ、地ヲシメサセ、石ヲトヂ合ヨ、四季トモニ水ノ付ク處ニ、古根ヲ裂キ植ヨ、井ノモトナドノ土ウクヤキ流レ、小石出ル處ニ植テトヂ合ヨ、赤葉サイサイ取テ捨テ葉ヲ刈リタルガヨシ、肥エテハ益ナク、瘠テハ根茂クナリテヨシ、

〔草木六部耕種法〕<sup>十</sup> 石菖蒲モ世ニ賞セラル、ヲ以テ種類甚多シ、其中ニ於テ高麗黃金、西湖鷄尾、<sup>フリヤウチ</sup>兩根、有栖川、晝夜等、其名ノ高キ者ナリ、凡ソ石菖ハ水濱ニ繁生スル者ナルヲ以テ、水ヲ澆テ作ルヨリ外ニ作法アルコト無シ、肥養ニハ鼠糞、蝙蝠糞ヲ古來稱スレドモ、然レドモ馬溺鹽ヲ用ルヲ殊ニ宜シトス、又其葉ヲ悉ク剪去リ、鐵線ヲ以テ根ヲ石ニ卷附ケ、恒ニ水ノ下滴ヲ乾ザルヤウニシテ置トキハ、鬚根ミナ石ニ繞著者ナリ、

〔延喜式〕<sup>三十七</sup> 諸國進年料雜藥

山城國卅二種、○中略 昌蒲三斤、伊賀國廿三種、○中略 昌蒲木斛夜干各十斤、○下略

〔萬葉集〕<sup>十</sup> 夏雜歌 詠鳥

霍公鳥、<sup>ホト、ギスイト、トキナシ、アヤメ、グサ、カッ、ラニ、セム、ヒコ、ユナキ、ワタレ</sup>厭時無、菖蒲、<sup>ホト、ギスイト、トキナシ、アヤメ、グサ、カッ、ラニ、セム、ヒコ、ユナキ、ワタレ</sup>護將爲日、從此鳴度禮、

〔古今和歌集〕<sup>十一</sup> 題 玄らす

郭公鳴やさ月のあやめ草あやめも玄らぬ戀もする哉

よみ人 玄らす

〔拾遺和歌集〕<sup>二十</sup> 哀傷 玄らす 玄らすといひ侍けるこの、やり水にさうぶをうゑをきてなくなり侍にける、